

平成23年度

名勝 小金井桜の会

総会議案書



「小金井桜後継樹」を植樹する都水道局・小金井市長・小平市長・都教育庁

平成23年5月7日

<http://koganei-sakura.web.infoseek.co.jp/>

小金井桜復活へのスタート



桜川岩瀬小学校六年生から30本の桜苗の寄贈を受けました。杉山造園で元気に育っています。



サクランボをボーイ・ガールの皆さんと採取し、今年2月に植え付け可愛い小金井桜の苗が発芽しました。119番の接ぎ木



伐採されたモデル地区

見事に咲いた小金井桜

伐採されたケヤキで樹名版を作成



大雪の中での植樹祭

歓迎レセプションでの市長挨拶

桜川岩瀬小学校へ感謝状授与

130余名の参加者での桜サミット



吉野山の桜の実情を報告

「物産展」出演の貫井ばやし

北上「鬼剣舞」の演舞に感激

勢ぞろいした各市のキャラクター

一年を振り返って

平成23年2月11日は

小金井桜復活の

記念すべき年となりました。

平成22年11月末、東京都水道局は『史跡玉川上水整備活用計画』に基づき、復活のモデル地区である小金井公園歩道橋と関野橋の間150メートルの雑木の伐採が行ない、名勝 小金井桜の植栽場所が確保され、復活への準備が整いました。

東京都水道局、東京都教育庁、小金井市、小平市の行政機関と市民団体との協働事業として平成23年2月11・12・13日の3日間「平成の世に甦る！名勝 小金井桜大復活祭」と題する一大イベントを企画しました。

このイベントに先立ち、2月5日には小金井、小平のガール・ボーイスカウトの皆さんの参加のもとに杉山造園苗床において、昨年採取した玉川上水堤の小金井桜のサクラノボの植え付けを小平市のイメージキャラクター「ぶるべー」と共にプレイベントとして実施しました。

「大復活祭」初日の2月11日は大雪の降る中、奈良県吉野・茨城県桜川・岩手県北上の皆さんをお招きし東京都をはじめ行政機関の協力のもとに、小金井公園桜守の会の皆さんに育成をお願いしておいた、桜川磯部神社の境内で実生から育った6年生の山桜と市内〇家の古木から接ぎ木した山桜、玉川上水堤の三好学博士が命名した三吉野桜（No.659番）と思われる古木から接ぎ木した山桜の計26本の系譜の正しい小金井桜の後継樹をモデル地区に植栽する一大イベントが多く関係者の見守る中で開催されました。

また、歴代5代目となる小金井橋の完成を記念して、奈良県吉野山・茨城県桜川・岩手県北上展勝地のヤマザクラの若木、小金井公園桜守の会から寛永年間に植採されたと思われる古木から接ぎ木をした後継樹の寄贈を受け、小金井橋の四隅に記念樹として植樹をしました。

2月12日には、吉野山保勝会・桜川日本花の会・北上さくらの会の代表者による「桜のまちづくりサミット」を130余名の参加者を得て、実りの多いシンポジウムを開催しました。大正13年にお花見のための臨時停車場として開設された武蔵小金井駅構内において「名勝小金井桜今昔写真展」を開催し、多くの皆さんに小金井桜の歴史を学習していただきました。

2月12・13日には、奈良県「まほろば館」桜川「サクラサクリプロジェクト」北上「展勝地レストラン」「小金井市商工会」等のご協力により「桜のふる里物産展」を開催し、北上市の民俗芸能「鬼剣舞」と小金井市の「貫井囃子」の共演をアトラクションとして行い、多くの皆様に楽しんでいただき、文化交流を行いました。両日とも奈良県の「せんとかん」・北上市の「おに丸くん」・小平市の「ぶるべー」そして小金井市の「こきんちゃん」と各市のイメージキャラクターが応援に駆け付け多くの子供たちに大変喜ばれました。

又、小金井桜復活事業を推進するために「名勝 小金井桜基金」を創設し、多くの皆様からご協力いただき、100万円以上の浄財をいただきました。

小金井桜復活のスタートとして植栽された、モデル地区の26本と小金井橋の4本の桜は元気に根付き、可愛い花びらを無事咲かせ「名勝 小金井桜」の仲間入りを果たしました。

3月19日、吉野山保勝会と読売新聞大阪本社主催の「救おう千年の桜 フォーラム in 吉野山」に石田精一会長がパネラーとして招かれ、名勝小金井桜の復活が全国レベルでご紹介され、大きくアピールする機会となりました。

小金井桜復活のために私たちの会はこれからが正念場です。

小金井市民はもとより、小平市・西東京市・武蔵野市の一人でも多くの皆さんと一緒に広域的な組織に発展させ、行政と協働して小金井桜の復活を進めていきたいと思っております。

平成22年度事業報告

時期	項目	備考
4月	小金井桜開花調査&ホームページ掲載(第3次)	
	小金井桜の開花観察会&総会開催	
	小金井桜まつり(第56回)にエントリー&出店	売上げ;831千円
	小金井桜の今昔写真展(第5回)	
	小金井市と整備活用計画事業検討	
5月	市・桜の会・杉山造園で苗木作り計画検討	
	北上を訪問して苗木作り計画検討	北上プロジェクト:6名参加
	新パンフレット&募金箱作り	
6月	名勝小金井桜写真展(第12回)	
	小金井桜後継樹種拾い;8ポイント他19種	ボーイ・ガールスカウト参加;約42名
	都水道局にて22年度補植&後継樹苗木計画説明	
	北上にて後継樹種拾い;11種	北上プロジェクト:6名参加
7月	小金井桜樹勢調査(第9次)	樹木医5名参加
	北上にて後継樹種拾い;第2回:8種	地元照岡小学生22名他参加
	桜基金計画作り	
8月	都・市・桜の会にてテスト地区計画詳細協議	
9月	市・桜の会にて計画詳細&協業イベントの検討	
	都・市・桜の会にて住民説明会計画協議	
	都・市・桜の会にて22年度活動詳細&23年度予算化検討	
	小金井お月見のつどい(第43回)にエントリー&出店	売上げ;336千円
10月	22年度整備活用計画の住民説明会	
	大復活祭実行委員会スタート	市長を委員長に組織
	小金井市民まつり(第38回)にエントリー&出店	売上げ;226千円
	桜川を訪問して苗木作り計画検討	桜川プロジェクト:14名参加
	落葉回収作戦実行委員会開催	
11月	都議会へ小平・小金井都議を訪ねて状況を報告&協力依頼	
	小金井市にて来年度予算化検討	
	桜基金パンフレット完成	
	小金井桜の落葉回収作戦(第8次)実施	約500名参加、約400袋回収
12月	こがねい市民活動まつり(第1回)にエントリー&展示	
	きらめきひらめき環境まつり(第1回)にエントリー&展示	旧環境博覧会として開催
	樹勢調査報告書完成&配布	会員&関係者へ300部配布
1月	新ホームページのアップロード	杉本さんの好意でスタート
2月	さくらんぼ種蒔きイベント開催; 小金井桜22種、北上小金井桜2世11種	ボーイ&ガールスカウト、小平ブル ベ参加;約56名
	伐採材再利用:シイタケ菌棒駒打ち;46本完	6名参加、当日売上げ¥13,000
	大復活祭;雪中で植樹祭:テスト地区&小金井橋、記念レ セプション開催	約80名参加
	大復活祭;物産展&サミット開催	約130名参加
	大復活祭;物産展:4地区からイメージキャラクター参加	駅前フェスティバル・コートにて好評
	大復活祭;小金井駅にて写真展開催	
3月	都・市・桜の会にて23年度活動計画市民説明内容協議	
	桜基金振込み;105名 総計1,066千円	
	吉野にて開催のフォーラムに石田会長がパネラーとして参加	約260名参加
4月	北日本大震災のため、小金井桜まつり&桜川観桜会中止へ 小金井桜まつりに替えて、観桜と学習の会開催	観察と講師の解説

平成22年度 事業記録



4月開花調査



4月桜まつり



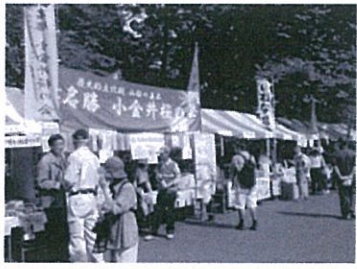
6月写真展



6月小金井桜種拾い



7月樹勢調査、北上にて「小金井」種拾い



9月お月見、10月市民まつり



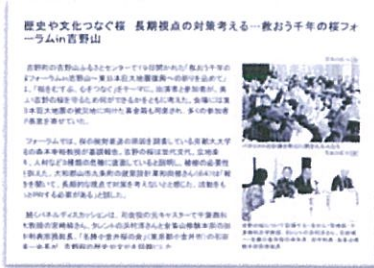
10月桜川訪問



11月落葉回収作戦



2月大復活祭イベント



3月吉野フォーラム



役員改選

平成22年度役員

名誉会長	大久保	慎七
会長	石田	精一
副会長	藤村	英明
副会長	富山	日出夫
副会長	鏑山	英次
副会長	西岡	真一郎
事務局長	小沼	廣和
事務局	岩間	博昭
事務局	植竹	隆夫
事務局	村山	秀貴
財務	田嶋	清二
財務	北村	佳代子
総務	小迫	悦子
総務	小迫	邦彦
総務	諸沢	英雄
総務	上床	道子
総務	柳田	真知子
広報	大崎	硬平
広報	四元	克志
監事	伊藤	正義
監事	遠藤	百合子

平成23年度役員(案)

名誉会長	大久保	慎七
会長	石田	精一
副会長	富山	日出夫
副会長	杉山	利夫
副会長	鏑山	英次
副会長	西岡	真一郎
事務局長	小沼	廣和
事務局	岩間	博昭
事務局	小林	満
事務局	村山	秀貴
財務	田嶋	清二
財務	北村	佳代子
総務	小迫	悦子
総務	袴田	保男
総務	諸沢	英雄
総務	上床	道子
総務	柳田	真知子
総務	遠藤	百合子
広報	小林	正樹
広報	大崎	硬平
広報	小迫	邦彦
監事	伊藤	正義
監事	渡辺	ひさ子

苗木プロジェクト・リーダー	伊藤	正義
吉野プロジェクト・リーダー	小沼	廣和
桜川プロジェクト・リーダー	小迫	邦彦
北上プロジェクト・リーダー	石田	精一
ホームページ：プロジェクト・リーダー	四元	克志
顧問(農工大名誉教授)	亀山	章
顧問(学芸大教授)	大石	学
顧問(法政大教授)	永瀬	克己
顧問(花の会主任研究員)	和田	博幸
顧問(桜の会事務局長)	浅田	信行

苗木プロジェクト・リーダー	伊藤	正義
吉野プロジェクト・リーダー	大崎	硬平
桜川プロジェクト・リーダー	小迫	邦彦
北上プロジェクト・リーダー	小林	満
ホームページ：プロジェクト・リーダー	小林	正樹
顧問(農工大名誉教授)	亀山	章
顧問(学芸大教授)	大石	学
顧問(法政大教授)	永瀬	克己
顧問(花の会主任研究員)	和田	博幸
顧問(桜の会事務局長)	浅田	信行

平成 23 年度予算書

一般会計

収入の部

繰越金	261.783 円	
会費	166.000 円	(83 名×2000 円)
利子	100 円	
雑収入	1.000 円	
合計	<u>428.883 円</u>	

支出の部

活動費	150.000 円	(樹勢調査・落ち葉回収作戦・学習会・講演会等)
事務費	60.000 円	
保険料	50.000 円	(ボランティア保険等)
予備費	8.883 円	
合計	<u>428.883 円</u>	

事業会計

収入の部

繰越金	128.929 円
桜まつり返金	31.700 円
事業収益	100.000 円
合計	<u>260.629 円</u>

支出の部

事業経費	130.000 円
活動費	40.000 円 (昼食補助等)
予備費	9.627 円
合計	<u>260.629 円</u>

さくら基金

収入の部

繰越金	1.040.598 円
振込金	100.000 円
利子	100 円
合計	<u>1.140.698 円</u>

支出の部

事業費	100.000 円 (リーフレット印刷等)
予備費	1.040.698 円
合計	<u>1.140.698 円</u>

平成23年度事業計画

定例会の開催（毎月）

- ・毎月第1土曜日午前10時から文化財センターでミーティングの後、名勝小金井桜の樹勢調査等のフィールドワークを行う。
- ・毎月第3土曜日午前10時から文化財センターで例会を行い小金井桜の復活のための学習と各プロジェクトとの連絡調整を行う。

復活モデル地区の植樹事業

- ・復活モデル地区への植樹2年目として新小金井橋から小金井公園歩道橋の区間に後継樹の植栽を行う。
- ・名勝小金井桜の復活に向けての全体のランドデザインを行政と協働で作成し、苗木調達の方策を検討する。
- ・フェンス内の桜及び補植した桜に伐採した雑木から再活用した名札を行政と協議のうえ取り付け。

補植に必要な苗木の育成

- ・小金井桜の復活を図るため、「吉野山保勝会」「桜川日本花の会」「北上さくらの会」との連携を強化し、サクランボの採取等を行い苗木育成の活動を行う。
- ・小金井桜の古木のサクランボ採取をボーイ・ガールスカウト等の協力を得て実施すると共に、植え付け作業を実施する。
- ・苗木育成の為に「育成地」を行政と協議し、確保に努める。

名勝 小金井桜基金の募集

- ・「名勝 小金井桜基金」の広報活動を積極的に展開し、イベント時における募集にとどまらず、市内飲食店等に募金箱の設置協力を呼び掛け、日常的に小金井桜の復活を全市民運動として展開する。

第10回小金井桜の樹勢調査の実施（7月から8月）

- ・NPO法人東京樹木医プロジェクトの協力を仰ぎ、第10回樹勢調査を夏の時期に実施し、現在おかれている小金井桜の実態と復活に向けての方策を内外に発信する。

イベント参加による収益事業（9月・10月・4月）

- ・小金井公園で開催される『お月見の集い』『市民まつり』『桜まつり』に出店し、小金井桜復活のための収益事業を展開する。

第12回小金井桜写真展の開催

- ・「名勝 小金井桜」の写真コンクールを主催し、優秀作品を表彰する。
- ・「みどりセンター祭り」「文化財センター小金井桜展」「小金井公園小金井桜の今昔展」等の写真展に参加し、小金井桜の素晴らしさを内外にアピールする

第8回落ち葉回収作戦の開催（11月）

・市内の環境保護団体と協力して玉川上水堤の落ち葉を回収し、一年を通して小金井桜に関心を寄せると共にリサイクル意識の高揚を図る。

学習会・懇談会・講座等の開催

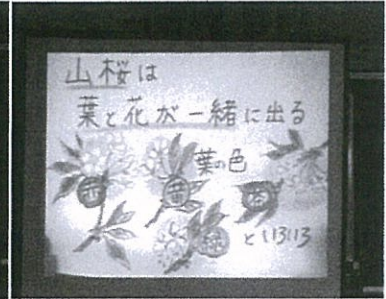
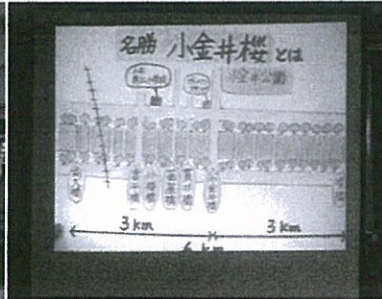
・小金井桜の復活に向けて日本桜の会・日本花の会等の協力を得て、桜に造詣の深い有識者を講師に迎え、学習会・講演会を行う。
・市議会議員をはじめ各種団体役員との懇談会を開催し、小金井桜復活へ向けての理解と協力を図る。
・一般都民を対象に小金井桜の歴史と再生に向けての講座・シンポジウムを開催し、会員の加入促進と啓発活動を行う。

ホームページの充実・強化

・小金井桜の歴史と復活に向けての活動を内外にアピールし、小金井桜の復活を全都民の合意形成を図るために、ホームページの内容の充実・強化を図る。

小平三小 4年総合「小金井桜」 2010.6.8 視聴覚室 西本、足達

昨年に引き続き、4年生対象に1時間授業を行いました。130周年記念児童集会で『119』を上演したこともあり、子どもたちは集中して聞いてくれ、質問も多数出ました。サクランボの味に興味のある子が多かったようです。また、苗を自分で育ててみたいとなった子もたくさんいました。先生から「次回はサクランボ拾いもできたら…」との声もありました。



めいしょう こがねいざくら
名勝 小金井桜の会会則

(名称)

第1条 本会は、名勝 小金井桜の会と称する。

(連絡場所)

第2条 本会の連絡場所は、事務局内（小金井市緑町3丁目1番12号）に置く。

(目的)

第3条 本会は、大正13年12月9日付で国の「史跡名勝天然記念物保存法」第1条の規定に基づき名勝に指定された、歴史的文化遺産である小金井サクラのヤマザクラ並木を次代に適切に継承することを目的とする。

更新のための植栽に当たっては、その歴史的背景である奈良県吉野及び茨城県桜川の後継樹・「小金井桜」の後継樹及び岩手県北上市展勝地公園のヤマザクラ「小金井」の後継樹に限定するとともに、「小金井桜」の保存や管理の方法を通して会員相互の交流と親睦を図ることを目的とする。

(活動)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- 1 「小金井桜の復活」を実現するため、「史跡玉川上水整備活用計画」による東京都並びに小金井市、などとの協働
- 2 樹勢低下等により危機的現状にある「小金井桜」の維持・管理
- 3 後継樹の育成・更新のための植栽
- 4 玉川上水周辺の環境整備促進
- 5 定例会、部会の開催
- 6 特定プロジェクトの推進
- 7 「小金井桜」及び「玉川上水」に関する講演会・研究会・交流会の開催
- 8 市民への啓発及び関係団体との連携
- 9 その他本会の目的に沿った活動

(会員)

第5条 会員は、前条の目的に賛同する者をもって構成する。

(賛助会員・団体・顧問)

第6条 本会に、賛助会員、賛助団体、顧問を置くことができる。

(役員構成)

第7条 本会に、次の役員を置く。

- | | | |
|---|------|------|
| 1 | 名誉会長 | 1名 |
| 2 | 会長 | 1名 |
| 3 | 副会長 | 若干名 |
| 4 | 事務局長 | 1名 |
| 5 | 事務局 | 2名以上 |
| 6 | 総務 | 2名以上 |
| 7 | 財務 | 2名以上 |
| 8 | 広報 | 2名以上 |
| 9 | 監事 | 2名 |

(役員構成)

第8条 名誉会長、会長、副会長、事務局長、事務局、総務、財務、広報、監事は、総会において選任する

(役員の職務)

第9条 役員の職務は次のとおりとする。

- 1 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
- 2 副会長は、会長を補佐する
- 3 事務局は、会務の執行を総括し、事務局を分掌する。
- 4 総務は、事務局を補佐し、庶務全般を分掌する。
- 5 財務は、財務を統括し、会計事務を分掌する。
- 6 広報は、本会の広報全般を分掌する。
- 7 監事は、本会の会計を監査する。

(任期)

第10条 役員の任期は、1年とし、再任を妨げない。

(運営)

第11条 本会は、年一回の総会と定例会を中心に運営する。

その他、必要に応じて役員会、部会、実行委員会、ワーキンググループを開催する。

(会計)

第12条 本会の経理は、次のとおりとする。

- 1 会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日で終わる。
- 2 運営の経費は、会員の会費およびその他の収入等をもって充てる。
- 3 会員は、会費として年額2000円を納入しなければならない。
また、必要に応じて臨時徴収することができる。
- 4 賛助会員は、年額101000円以上、賛助団体は105000円以上
納入するものとする。
- 5 会計年度終了後、監事により監査を受けたのち総会において会計報告を行う。

(施行細則)

第13条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(改正)

第14条 本会則の改廃については、総会出席者の三分の二以上の賛成を要する。

付則

この会則は、平成19年6月16日から施行する。

付則

平成21年4月18日総会にて第7条の役員数を〇〇名以上に改正。

平成21年4月18日総会にて第12条の4「年額101000円以上」に改正。

平成22年4月10日総会にて；

第4条：項目順序を変更し、2項目「「小金井桜の復活」を実現するため、・・・」及び「特定プロジェクトの推進」を追加、5項に「部会」を追加。

第6条：「顧問」を追加。

第7条：「名誉会長」「事務局長」「広報」を追加、「庶務」を「総務」並びに「会計」を「財務」に名称変更。

第8条：「名誉会長」「事務局長」「広報」を追加、「総務」「財務」に名称変更。

第9条：項目順序を変更し、6項「広報」を追加並びに4・5項は「総務」「財務」に名称変更。

第11条：「部会」「実行委員会」「ワーキンググループ」を追加。

名勝小金井桜さくら基金 規定

(名称)

第1条 この基金は名勝小金井桜さくら基金(以下基金)という。

(目的)

第2条 基金は名勝小金井桜の復活に係わる事業及び活動のための資金に充てる。

(事業の種類)

第3条 前条にいう事業は下記の4項目とする。

- (1) 後継樹の種子、苗木の収集と育成
- (2) 後継樹の維持管理
- (3) さくら基金の広報など
- (4) その他関連する事項

(使途)

第4条 基金の使途については会の承認を得るものとする。

(募金)

第5条 基金の募金は下記の2種類により行う。

- (1) 第6条3項に指定された口座への振込
- (2) 名勝小金井桜「さくら基金」の表示のある募金箱による募金

(会計)

- 第6条
- (1) 会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日までとする。
 - (2) 基金は特別会計とし専用の口座により管理する。
 - (3) 基金の口座は多摩信用金庫小金井支店・普通預金 名勝小金井桜の会とする。

(監査)

第7条 会計年度終了後速やかに決算書類を作成し監事の監査を受け会の総会に報告し承認を得る。

(細則)

第8条 規定に定めるものの他基金の運営に関し必要な事項は別に定める。

(付則) この規定は平成22年11月27日から施行する。